

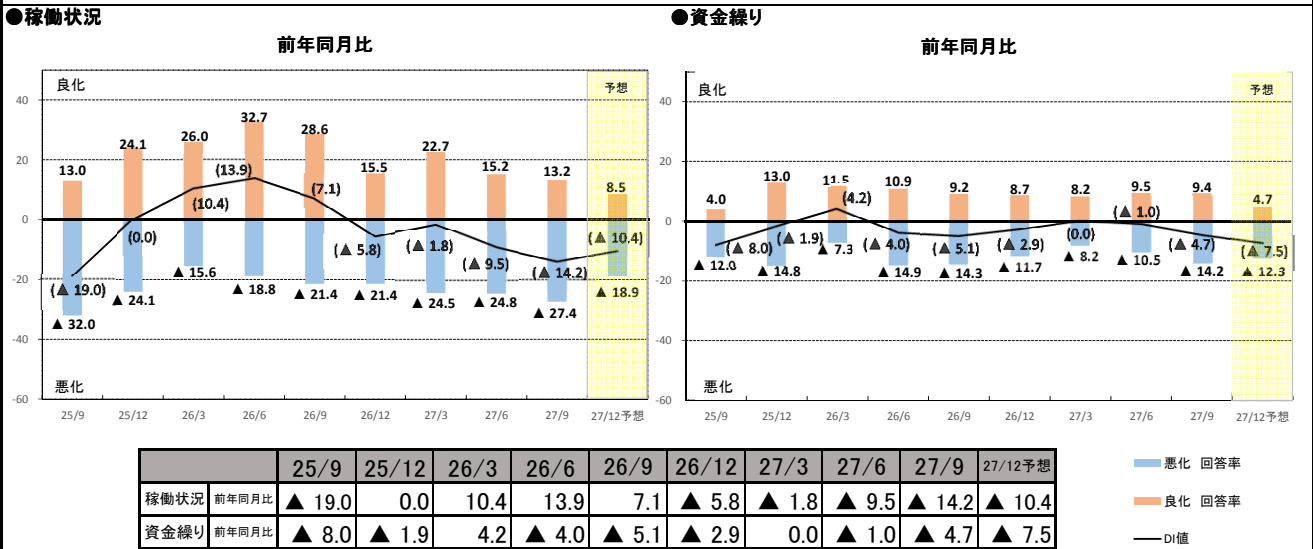
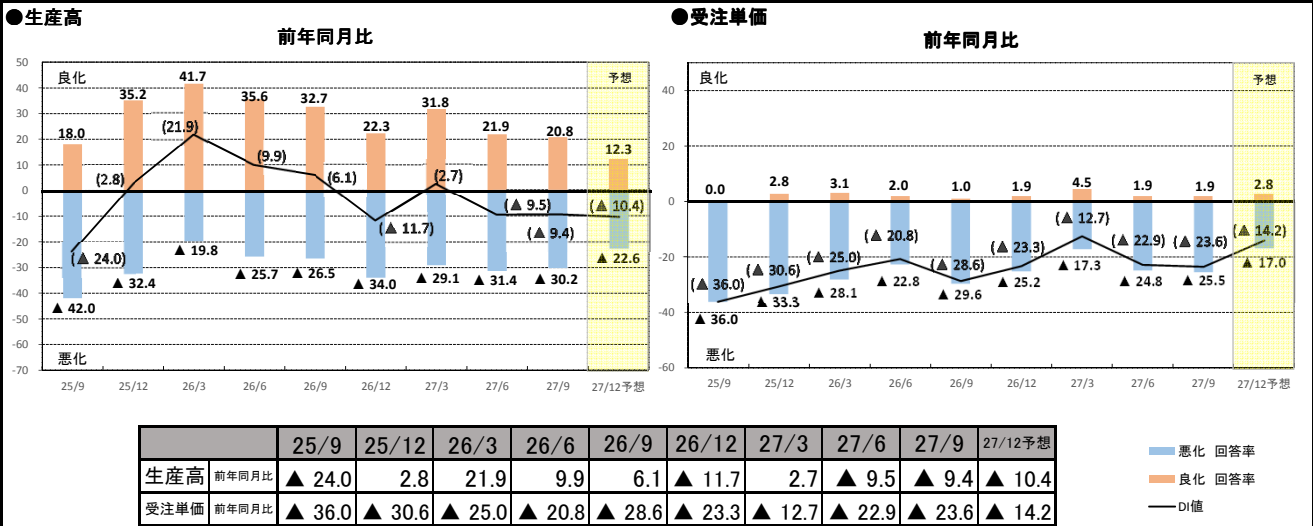
# 受注企業動向調査結果

-2015.10-

- 調査時点 平成27年9月調査(平成27年9月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 106社(回答率:70.67%)

<業種内訳>	
プラスチック	8社
鉄鋼・非鉄	8社
金属製品	21社
一般機械器具	23社
電気機器	21社
輸送用機器	6社
精密機器	10社
縫製	9社
計	106社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



## ●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは(▲9.4)で前回の(▲9.5)から0.1ポイント増の横ばいとなった。
- ・受注単価DIは(▲23.6)で前回の(▲22.9)から0.7ポイント減の横ばいとなった。
- ・稼働状況DIは(▲14.2)で前回の(▲9.5)から4.7ポイント減の悪化となった。
- ・資金繰りDIは(▲4.7)で前回の(▲1.0)から3.7ポイント減で悪化となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が(▲10.4)で1.0ポイント減の横ばい、受注単価は(▲14.2)で9.4ポイント増の良化、稼働状況が(▲10.4)で3.8ポイントの増で良化、資金繰りは(▲7.5)で2.8ポイント減で悪化という予想になった。
- ・依然として円安や原材料の高騰の影響などはあるが、全体的に受注が減少していると感じている企業が多く見られる。海外景気の動向に注目している企業もあり、海外景気の減速が中小企業にも影響を及ぼしてきていると考えられる。